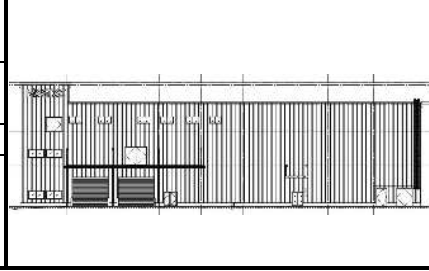


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社マスタック入間工場 増床計画	階数	地上3F
建設地	埼玉県入間市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	121 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2026年4月17日
敷地面積	2,150 m ²	作成者	平岩建設(株)
建築面積	919 m ²	確認日	2026年4月17日
延床面積	2,623 m ²	確認者	平岩建設(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 84% (38 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 前面道路が「いちよう通り」に面している事や周囲の工場の緑地計画がしっかりしている事もあり、周囲との調和というコンセプトを基礎として緑地計画を考慮した。		Q2: 補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や節水型便器を採用し、省水型機器を用いるなど水資源を保護している。発泡断熱材を採用しないなど汚染物質含有材料の使用を回避している。OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社マスタック人間工場 増床計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										2.8
1 音環境						2.5	0.15	-	-	2.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						1.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.3	0.35	-	-	2.3
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	-	-	
3 ソーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.9	0.25	-	-	2.9
3.1 昼光利用						2.4	0.30	-	-	
1 昼光率						2.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		全般照明方式: 水平面照度805lx				4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に使用				4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						2.3	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能						1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						2.4	0.40	-	-	2.4
1.1 機能性・使いやすさ						1.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画						1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		リフレッシュスペースは執務スペースの1%以上+自動販売機の設置				3.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース						5.0	0.33	-	-	
3 内装計画						1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						4.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁: 金属サイディング30年				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事)床: タイルカーペット20年、壁: クロス貼20年、天井: ボード30年 工)床: 塗床20年、壁: ボード30年、天井: デッキあらかし40年				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管: 塩ビライニング管(B)、給湯管: ステンレス管(C)、排水管: 塩ビ管(B)、上位3種のうち2種以上にB、Eは使用なし				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり						4.6	0.30	-	-	

	1	階高のゆとり	事)工)階高:3.9m以上	5.0	0.60		-	-	
	2	空間の形状・自由さ	事)工)壁長さ比率:0.1以上0.3未満	4.0	0.40		-	-	
	3.2 荷重のゆとり		事)2900N/㎡、工)18000N/㎡ 面積按分にてレベル4 事務所用途:レベル3*床面積1206.6㎡+工場用途:レベル5*1416.65㎡÷延床面積2623.25㎡=4.0...	4.0	0.30		-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック、天井内ころがし配線、配管配線等により仕上材を痛めず更新・修繕	5.0	0.10		-	-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック、配管配線等により仕上材を痛めず更新・修繕	5.0	0.10		-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.35		-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR1 エネルギー				-	0.40		-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPIm=0.92	3.7	0.20		-	3.7
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化				[BEI][BEIm]= 0.75	3.5	0.50		-	3.5
4 効率的運用					3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
	集合住宅の評価			-	-		-	-	
	4.1	モニタリング		-	-		-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	-	3.2
1 水資源保護					3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水		主要水栓の過半に自動水栓、節水コマ等を採用、加えて節水型便器を採用	4.0	0.40		-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.60		-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		QLデッキ、ハイベスNEO、G-ECSパイル工法を採用	4.0	0.11		-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能、取外し可能再利用できるユニット部材としてOAFロアを採用	5.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.7	0.20		-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	-	
	1	消火剤		-	-		-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を使用していない	5.0	0.50		-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				LCCO2排出量を参照値より抑制	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮					3.1	0.33		-	3.1
	2.1 大気汚染防止		事)燃焼機器の使用なし、工)使用有り 面積按分にてレベル4 事務所用途:レベル5*床面積1206.6㎡+工場用途:レベル3*1416.65㎡÷延床面積2623.25㎡=3.9...	4.0	0.25		-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33		-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
	1	騒音		3.0	1.00		-	-	
	2	振動		-	-		-	-	
	3	悪臭		-	-		-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-		-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート








■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社マスタック入間工場 増	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	2.3	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
<配慮した内容を記述> LCCO2排出量を参照値より抑制している			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 建物廻りは可能な限り緑地を計画し、隣地境界及び道路境界に沿って計画のメッシュフェンスは、壁面緑化フェンスとし、周辺環境に配慮している			

:入力欄